

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 パイオラックス
 コード番号 5988 URL <https://www.piolax.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 福田 俊宏 TEL 045-577-3880
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	15,734	4.2	649	△27.9	897	△17.7	721	△27.8
2024年3月期第1四半期	15,100	8.5	901	△27.1	1,089	△23.5	999	△6.0

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 3,072百万円 (57.2%) 2024年3月期第1四半期 1,954百万円 (△49.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	21.18	—
2024年3月期第1四半期	29.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	122,330	108,998	87.7
2024年3月期	121,416	107,944	87.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 107,288百万円 2024年3月期 106,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	69.00	—	59.00	128.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	39.00	—	53.00	92.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無
 2. 2024年3月期の第2四半期末配当金には、創業90周年記念配当10.00円が含まれております。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	32,000	3.3	1,300	△30.9	1,800	△23.5	1,300	△34.4	38.19
通期	66,000	2.2	3,600	△24.3	4,700	△16.8	3,100	△22.8	91.06

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	37,054,100株	2024年3月期	38,054,100株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	3,011,444株	2024年3月期	4,011,443株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	34,042,656株	2024年3月期1Q	34,042,727株

(注)

1. 当社は、役員向け株式報酬制度を導入しており、信託に残存する自社の株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(前第1四半期連結会計期間 79,484株、当第1四半期連結会計期間 112,179株)

2. 当社は、従業員向け株式報酬制度を導入しており、信託に残存する自社の株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(当第1四半期連結会計期間 65,390株)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(参考資料)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、社会・経済活動の正常化が進み景気は緩やかな回復傾向が継続しましたが、引き続き円安や原油高騰を背景にエネルギー価格や物価の高騰が続いており、依然として先行き不透明な状況が続いております。世界経済につきましても、経済活動が活発になる中、地域紛争などの地政学的リスクの高まりやインフレ加速など、経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要なお取引先である自動車業界につきましては、一部の自動車メーカーの不正問題による生産・出荷停止の影響により生産台数が減少し、また中国自動車市場における日系自動車メーカーの販売低迷や急速なEV化へのシフトなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような需要環境のもと当社グループといたしましては、お取引先からのニーズを確実に捕捉し、日系のお取引先に加え非日系のお取引先にもグローバルに拡販活動を推進した結果、自動車メーカーの減産による影響があったものの、円安による為替が補ったことも相まって、売上高は15,734百万円と、前期比633百万円(4.2%)の増収となりました。

一方利益面におきましては、より一層の合理化を推進いたしました。エネルギー費用等の高騰や労務費の上昇等により、営業利益は649百万円(前期比27.9%減)、経常利益は897百万円(前期比17.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は721百万円(前期比27.8%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(自動車関連等)

グローバルに拡販活動を推進して参りましたが、自動車メーカーの減産の影響による減少を円安による為替が補ったことにより、売上高は14,455百万円(前期比3.6%増)となりました。一方利益面においては、収益改善活動をグループ一丸となって推進いたしました。エネルギー費用等の高騰や労務費の上昇等により、営業利益は842百万円(前期比28.8%減)となりました。

(医療機器)

拡販を積極的に推進いたしました結果、売上高は1,278百万円(前期比11.8%増)となりました。一方利益面においては、増収による限界利益の増加に加え、収益改善活動を推進した結果、営業利益は105百万円(昨年は24百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の資産合計は、有形固定資産の増加等により914百万円増加し122,330百万円となりました。

負債合計は、固定負債の減少等により139百万円減少し13,332百万円となりました。

純資産合計は、為替換算調整勘定の増加等により1,053百万円増加し108,998百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2024年5月10日の「2024年3月期 決算短信」で公表した数値から変更しておりません。

なお、本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,652	36,383
受取手形及び売掛金	13,442	12,790
電子記録債権	2,213	2,114
有価証券	1,620	1,329
商品及び製品	5,980	6,467
仕掛品	2,238	2,374
原材料及び貯蔵品	3,148	3,116
未収還付法人税等	34	158
その他	2,769	2,547
貸倒引当金	△38	△37
流動資産合計	67,062	67,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,144	12,237
機械装置及び運搬具(純額)	7,868	8,168
工具、器具及び備品(純額)	2,514	2,575
土地	5,885	5,904
リース資産(純額)	448	444
建設仮勘定	1,304	1,442
有形固定資産合計	30,165	30,772
無形固定資産		
その他	1,565	1,526
無形固定資産合計	1,565	1,526
投資その他の資産		
投資有価証券	21,311	21,418
その他	1,315	1,372
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	22,623	22,787
固定資産合計	54,353	55,086
資産合計	121,416	122,330

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,151	3,005
未払法人税等	689	248
引当金	938	481
資産除去債務	12	—
その他	4,650	6,631
流動負債合計	9,442	10,366
固定負債		
役員株式給付引当金	159	177
株式給付引当金	17	28
退職給付に係る負債	323	346
資産除去債務	100	101
その他	3,428	2,313
固定負債合計	4,029	2,966
負債合計	13,472	13,332
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,960	2,960
資本剰余金	2,634	2,572
利益剰余金	94,068	91,318
自己株式	△4,732	△3,218
株主資本合計	94,932	93,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,791	1,691
繰延ヘッジ損益	△0	△3
為替換算調整勘定	9,469	11,859
退職給付に係る調整累計額	104	106
その他の包括利益累計額合計	11,365	13,654
非支配株主持分	1,646	1,709
純資産合計	107,944	108,998
負債純資産合計	121,416	122,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	15,100	15,734
売上原価	11,433	12,008
売上総利益	3,666	3,725
販売費及び一般管理費	2,765	3,075
営業利益	901	649
営業外収益		
受取利息	99	159
受取配当金	37	47
持分法による投資利益	166	134
その他	90	66
営業外収益合計	394	408
営業外費用		
支払利息	2	5
固定資産廃棄損	1	0
デリバティブ評価損	11	2
貸貸収入原価	1	1
為替差損	71	50
建物解体費用	115	72
その他	2	28
営業外費用合計	206	161
経常利益	1,089	897
税金等調整前四半期純利益	1,089	897
法人税等	76	162
四半期純利益	1,013	734
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	999	721

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,013	734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	191	△19
繰延ヘッジ損益	△3	△3
為替換算調整勘定	544	2,351
持分法適用会社に対する持分相当額	208	9
その他の包括利益合計	941	2,338
四半期包括利益	1,954	3,072
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,965	3,010
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	62

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65号-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2024年5月10日開催の取締役会に基づき、2024年6月26日付で自己株式1,000,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が61百万円、利益剰余金が1,452百万円それぞれ減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が2,572百万円、利益剰余金が91,318百万円、自己株式が3,218百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	867百万円	1,022百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	13,956	1,143	15,100
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	13,956	1,143	15,100
セグメント利益又は損失 (△)	1,183	△24	1,159

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,159
全社費用（注）	△260
セグメント間取引消去	3
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	901

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日 至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	14,455	1,278	15,734
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	14,455	1,278	15,734
セグメント利益	842	105	948

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	948
全社費用(注)	△300
セグメント間取引消去	3
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	649

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。

(参考資料)

[所在地別セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	6,928	3,311	4,395	463	15,100	—	15,100
(2)セグメント間の内部売上高	1,000	11	206	0	1,218	△1,218	—
計	7,929	3,322	4,602	464	16,318	△1,218	15,100
営業利益	396	313	402	6	1,118	△217	901

II 当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	6,834	3,901	4,464	534	15,734	—	15,734
(2)セグメント間の内部売上高	1,095	21	325	1	1,443	△1,443	—
計	7,929	3,922	4,789	535	17,177	△1,443	15,734
営業利益	431	378	149	△12	947	△297	649